

若狭めのう細工



れてきたが、最近では工程
の中で出る石のかげらを活
かしたピアスやイヤリング
なども作られ、気軽に現代
のファッションに個性をプ
ラスすることができる。

めのうは、古くから七宝の一
つに数えられ、日本にお
ける貴石細工のルーツとし
ても知られ、炎のように鮮
やかで赤く半透明な色彩が
特徴。その深みのある赤い
色合いは鉄分を使用した独
特の技法「焼き入れ」とい
う工程によって生まれる。硬
度が高く、石の形状にあわ
せて少しずつしか削ること
ができるため、できる製
品はすべて1点もの。鶏や
鯉などの調度品も多く作ら

詳細動画は
こちらから



日本の貴石細工のルーツを
生活に寄りようアイテムに。

若狭めのう細工のおはなし



奈良時代に信仰の一環でつくられたのが発祥。江戸時代に入り、眼鏡屋に奉公し、玉づくりの技術を得た職人によって再興された。明治時代には、彫刻の技術がもたらされ、繊細な作品が作られるようになった